



1・2・3年生朝会「自分たちで考えてよりよくしていく」

10日の朝会では、1・2・3年生におきて話をしました。

子どもたちには日頃から「自分たちで考えて、よりよくしたり、楽しくしたりしようとする竹山小学校にしよう」と話をしていきます。

どっちのがっこうで、せいかつしたいですか



今回はそのことを2つのトイレのスリッパを紹介することで話をしました。左の写真を見せながら『みんなはどっちの学校で生活したいですか』と尋ねました。



子どもたちは「スリッパがきれいに並んだ赤色の方がいい」「なぜかという、次に使う人のことを考えているから」という意見を自分の言葉で一生懸命伝えてくれました。



私がトイレのスリッパを通じて考えさせたかったのは、自分も学校の一員であるという当事者意識と、自分たちの力を合わせることで学校生活をよりよいものや豊かにすることができることです。

後半では、各学年の係活動・当



番活動について紹介しました。

黒板の係や日づけの係をはじめおたより・けんこうかんさつ・はいたつ・メディア・みなあそびなど1～3人での当番活動は、クラスの一員として責任感や自主性を育むことに適しています。具体的には、数名で役割を担うことで、互いに協力し活動する喜びを味わいながら、自己肯定感や自己有用感も高めることができると思っています。



子どもたち一人ひとりの毎日の活動の中から自主性が育ち、自分自身の成長につながりまたクラスや学校のことを考える行動に繋がっていくことを願っています。



統合して2年目を迎えている学校だからこそ、こうした子どもたちの日頃の活動がこれからの学校の文化や伝統を創っていくと考えています。

